

国際ロータリー第 2500 地区第 6 分區

# 帯広東ロータリークラブ会報



ROTARY  
SERVING  
HUMANITY

2016-2017 年度  
帯広東ロータリークラブ

会 長 高 田 進  
幹 事 石 川 博 機  
メディア委員長 上 野 敏 郎

「**活** : かつ」

## 第1564回例会

平成29年4月26日(水) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30  
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広

S.Mori



### 2016-2017 年度 国際ロータリーテーマ 【人類に奉仕するロータリー】

2016-2017 年度国際ロータリー会長  
ジョーンF・ジャーム

### ガバナーテーマ 【ロータリーの明日のために、積極的に行動しよう】

国際ロータリー第 2500 地区 ガバナー  
駒 形 曙 美

### 月間テーマ 【母子の健康月間】

- ◎点 鐘 高田 進 会 長
  - ◎開 会 宣 言 加藤雄樹 S A A
  - ◎ロータリーソング 「奉仕の理想」
  - ◎ゲスト紹介 高田 進 会 長
- 公益財団法人十勝ロータリー奨学会

平成29年度奨学生

池田笑子 様	(保護者	池田有樹 様)
佐野純太 様	(保護者	佐野誠子 様)
竹中広大 様	(保護者	竹中尚美 様)



#### 会長挨拶

高田 進 会長



皆さんこんにちは。  
 本日は時期的に大変忙しい中、多くのご出席をいただきありがとうございます。  
 今日は、年一度の帯広北クラブ、音更クラブ、帯広東クラブの合同例会でありプログラムは十勝奨学

会の2年に一度の支給式を行います。

今回、地元出身の3人の新大学生が奨学生の門出となります。十勝奨学会も新しい年度をむかえ、新理事長の元スタートとなります。

私たちの生まれた時代は200万人以上という出生数でしたが、現在は100万人まで減少しています。昔は大学も少なく、進学率も低かった為、今のように奨学金制度はあまり利用されてはいなかったような気がします。今は、進学率が50%を超え学生数が増え、有償、無償の奨学金が多くなり、卒業後の負担があとの人生に影響をあたえる事になって社会問題にもなってきました。今年度から国による給付型の奨学金制度がスタートしました。初年度は2万人のスタートという事で大変厳しい競争のようです。親からの仕送りも、新聞によると、多い時は月額14.5万だったのが、今は7万円代と約半分になっているとの事です。これでは、家庭経済の厳しい中、学生も学費や生活費はアルバイトが必須の条件になります。当然、奨学金も欠かせない存在となります。

十勝奨学会は民間の給付型の奨学金で返済義務がありません。これにより、大学生は時間が確保され勉学の時間ができるはずですが、しかし、給付型は条件が厳しく、学力以外にも大変な選択と競争にさらされます。望んでもかなわなかった人達も沢山いるはずですが。

大学、学歴は将来を保証するものではなく就職を保証するものではありません。あくまで環境、条件であり、大事なものは、本人の考えと努力ではないかと思えます。

自分も遠い昔、学生の時代がありましたが、学力以外に今、思う事はできるだけ多くの友達を作ること、それと、できれば一生楽しめる趣味を徹底して覚える事を見つける事を勧めます。貴重な学生時代の友人は将来数は減りますが、長い付き合いになり、貴重な存在になります。また若い時に覚えた趣味は徹底して覚えると長い人生できっと役に立ちます。

自己目標を持ち、楽しく、密度の濃い貴重な学生時代を過ごして頂くよう祈念しています。

以上、挨拶に代えさせていただきます。

#### 会務報告

石川博機 幹事

◎帯広東RC、5月2日(火)は休会と致します。



## 支給式

十勝ロータリー奨学会委員会

### 平成29年度 公益財団法人 十勝ロータリー奨学会 帯広北ロータリークラブ 荒木 樹 専務理事

紹介にあずかりました公益財団法人十勝ロータリー奨学会専務理事をしております。帯広北ロータリークラブの荒木でございます。

これより公益財団法人十勝ロータリー奨学会平成29年度支給式を行います。

今年度採用されました3名の奨学生のご紹介をいたします。

最初に紹介するのは池田笑子さんです。池田笑さんは北海道帯広三条高校を卒業され、この春日本赤十字北海道看護大学に合格され進学されました。小学校の時に当時在住されていた岩手県で東日本大震災に被災され、その経験から看護師の道を選ばれたとの事です。

次に紹介するのは佐野純太さんです。佐野純太さんは北海道帯広三条高校を卒業され、この春弘前大学医学部保健学科に合格され進学されました。佐野さんは家庭の事情から経済的に苦しい中で、診療放射線技師という医療の道を選択されることとなりました。

続きまして紹介するのは竹中広大さんです。竹中さんは北海道帯広柏葉高校を平成26年に卒業され、現在筑波大学体育専門学部に内科系スポーツ医学研究室に進み3年生に在籍しております。竹中さんはサッカーのトップリーグを目指しておりましたが、経済的理由からあえて国立大学である筑波大学に一浪して入学しました。全日本大学サッカー選手権にチームの一員として優勝した経験を持つ他、現在教員免許の取得を目指しております。

## ご 祝 辞

前田修一 理事長

採用になられた方今日は本当におめでとうございます。3人の方を選んだ委員会・理事会の方もご苦労さまでした。

2年に1回の支給式なのですが、ロータリー奨学会は昭和54年から奨学資金を集めまして、



昭和62年から奨学金を支給しております。その他紆余曲折がございまして今までの理事長・会員の方はかなり苦労して今の時代を向かえました。

大学の時とにかく借金を作らないで、卒業と同時に借がないようにすること、それから友達をたくさんつくるとい話を、講演会で申し上げている事でございます。

もう一つ付け加えるならば大学時代の友達ですけど、大学の卒業後10年の間の友達は本当に一生の友達になるものでございます。そういったものも含めて自由な時間ができるために少しでもお役に立てればという奨学金でございますので、その辺の事を考えて学業・友達作り・社会の勉強等に励んでいただければと思います。

本当に今日はおめでとうございました。

◎閉会宣言

加藤 雄樹 S A A

◎点 鐘

高田 進 会 長

## 次回プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会

5月9日(火) 「ゲスト卓話」

